

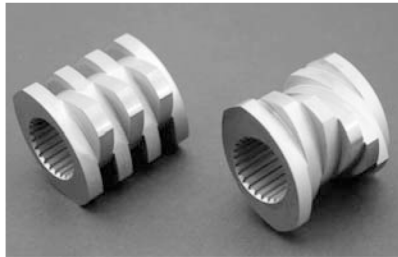
2軸押出機向け新素材

日本タングステン 金属コンタミ110

【福岡】日本タングステンは、2軸押出機部材「MAZELLO Y（マゼロイ）」事業を始める。開発した核となる新材料「MZ01」は、チタン系の炭窒化物や鉄系金属を組み合わせた素材で工具鋼（SKD11）の約10

倍の長寿命化を実現する。2軸押出機の部材摩耗からの金属コンタミが10分の1に減らせ、使用中の工具と置き換えできる。

特徴は鉄より軽く、超硬合金以上の耐磨耗性と超硬合金に匹敵する耐衝撃性を持つ点。超硬合金を使いたいが比重が重いため使えない場合の選択肢となる。強化樹脂コンパウンドの生産に使われる2軸押出機の主要部品



スクリーンエレメントに新材料を使えば生産財の交換サイクルを延ばせる。「工具費用に関して

2軸押出機部材「マゼロイ」事業で発売する新材料「MZ01」製のスクリーンエレメントは5分の1程度にランニングコストを低減できる。未来の素材材を作るキーパーツとして「売り込む」（中原賢治取締役）。顧客が既存の設備を使いながら摩耗による工具コストとランニングコストを下げること

狙う市場分野は炭素繊維強化プラスチック（CFRP）など自動車部品用強化プラスチック、半導体封止材などの電子部品用樹脂材料、リチウムイオン電池用電極材など。11月18～20日にネット上で開かれる「国際プラスチックフェアバーチャル」に出展する予定。